

幼小中つながる通信 vol.71

発行：令和2年6月9日 袋井市教育委員会

幼児期からの指導が中学に生きる



降園前に話を聞く（若葉幼稚園）



学級で話を聞く（袋井中学校）

学園共通の取り組み「聞く」

幼小中一貫教育では、主体的な学びにつながる「自己有用感」をはぐくみ、「生活習慣」を身に付けるために、学園ごとに共通の取り組みが決められています。

袋井あやぐも学園では、「聞く」ことを大切にする指導が、学園内の幼稚園、小学校、中学校の様々な場面で行われています。袋井中学校の先生方からは、「ここ数年、全校集会での話を聞く様子や、授業中に人の話を聞く様子がとてもよくなった。」という話を聞きます。小学校はもちろん、幼稚園での発達段階に応じた「聞く」指導が中学校での姿につながっているとと言えます。

「聞く」ことは相手への思いやり

幼稚園や低学年の子どもに「話を聞きなさい」と言ってもなかなか思うようにはいきません。袋井あやぐも学園では、「聞く」ことを押し付ける指導ではなく、「聞く」ことで自分の考えが変わったり、深まったり、新たな発見をしたりするなど、自分自身にとってもプラスになることを伝えています。そして、「聞く」ことは相手への思いやりの表れであるという相手意識をもつことも大切にしています。

子どもは自分の話を聞いてもらえる喜びを味わうことで、人の話を聞くことができるようになります。ご家庭でもぜひお子さんの話を聞いてあげてください。

幼小中の接続



全校で話を聞く（袋井中学校）

全校生徒が集まる場面でも「聞く」ことを大切にしたい指導が実践されています。



一日の生活の中で、楽しかったことや友達に伝えたことを聞きます。

